

【中国ブロック 広島県】

広島市(広島県)

| 実施日 | 行事名 | 行事の種類 | 行事の主な内容 | 実施主体 | 経費 (予算額) | 参加人数、 応募人数、 対象者、 引率職員など | 担当課名 |
|-----------------------|----------------------------|------------|---|------------|----------------------|---|-----------------------------------|
| 通年 | 被爆体験伝承者の養成 | 平和学習・講座・研修 | 被爆体験を次世代に伝えていくため、被爆体験伝承者を養成する。 | 広島市 | 2,946千円 | 受講者数243人 | 市民局国際平和推進部平和推進課 |
| 通年 | 平和記念資料館再整備事業 | 資料館等の運営 | 被爆の実相をより一層分かりやすく伝えるため、常設展示の全面的な更新を行うとともに、開館から60年以上が経過し老朽化している建物の改修を行う。 | 広島市 | 1,231,596千円 | | 市民局国際平和推進部平和推進課 |
| 通年 | 被爆樹木モニタリング等事業 | 被爆樹木・平和の灯 | 樹木医による被爆樹木のモニタリングを行い、樹勢回復措置を講じる。 | 広島市 | 1,880千円 | | 市民局国際平和推進部平和推進課 |
| 7月・11月・12月 | 被爆建物・被爆樹木めぐり | 平和学習・講座・研修 | 被爆建物や被爆樹木の見学ツアーを開催し、被爆の実相に触れる機会を提供する。 | 広島市 | 83千円 | 建物めぐり(第1回)16人 建物めぐり(第2回)27人 樹木めぐり 27人 | 市民局国際平和推進部平和推進課 |
| 通年 | 被爆建物・被爆樹木等散策ガイドの作成 | その他 | 被爆建物や被爆樹木、市内にある被爆関連の遺構についての説明や、地区別や時間単位での散策ルート等を掲載したガイドブックを作成し、市内主要書店等で販売することで、平和記念公園周辺以外の被爆資料の見学の機会を提供する。 | 広島市 | 4,500千円 | | 市民局国際平和推進部平和推進課 |
| 通年 | 被爆建物の保存支援 | その他 | 保存計画の認定を受けた登録建物の所有者が行う保存のための工事に對し、その経費を助成する。 | 広島市 | 35,131千円 | | 市民局国際平和推進部平和推進課 |
| 通年 | 折り鶴に託された思いを昇華させるための取組の推進 | 折り鶴 | 平和記念公園の「原爆の子の像」に国内外から捧げられる折り鶴に託された平和を願う思いを多くの市民と共有し、核兵器廃絶と世界恒久平和を願う輪を広げていくため「折り鶴に託された思いを昇華させるための方策」に基づき、昇華の取組を主体的に実施する市民等に折り鶴を配付する。 | 広島市 | 2,558千円 | | 市民局国際平和推進部平和推進課 |
| 通年 | 折り鶴ポストカードによるピースメール事業 | 折り鶴 | 平和記念資料館入館者に対して、ポストカードを配布し、被爆の実相に触れることで感じた平和への思いを記し、館内の郵便ポストに投函してもらう。 | 広島市 | 10,500千円 | | 市民局国際平和推進部平和推進課 |
| 通年 | 平和記念資料館管理運営 | 資料館等の運営 | 平和記念資料館の管理運営 | 広島平和文化センター | 241,137千円 (人件費除く) | | 総務部総務課、施設課 平和記念資料館学芸課 資料管理課 |
| 通年 | 平和記念資料館収蔵資料の保存措置の強化 | 資料館等の運営 | 被爆資料の劣化状況の調査を行い、必要な保存措置を講じるとともに、被爆者証言ビデオのデジタル化を行う。 | 広島平和文化センター | 15,350千円 | | 平和記念資料館学芸課 |
| 通年 | 被爆資料の収集の強化 | 資料館等の運営 | 被爆者やその遺族が保管している被爆資料及び海外の博物館・図書館が所蔵する被爆関連写真等に加えて、資料館の沿革に係る資料や情報を調査・収集し、展示内容や出版物の充実を図る。 | 広島平和文化センター | 5,278千円 | | 平和記念資料館学芸課 |
| 7月28日～平成30年7月(予定) | 旧日本銀行広島支店での平和記念資料館収蔵品の展示等 | 展示・上映 | 被爆建造物でもある「旧日本銀行広島支店」において、「市民が描いた原爆の絵」の展示を行う。また、併せて、平和記念資料館が所蔵する写真や資料の展示も行う。 | 広島平和文化センター | 2,874千円 | | 平和記念資料館学芸課 |
| 6/1～10/31、11/15～11/30 | ヒロシマ・ナガサキ原爆展の開催(長崎市との共同事業) | 展示・上映 | ブダペスト市(ハンガリー)、コトル市(モンテネグロ)において原爆展を開催し、原爆写真パネルや被爆資料の展示、被爆体験証言、ビデオ上映を行う。 | 広島平和文化センター | 4,759千円 | 来場者数 約91,600人 | 平和記念資料館啓発課 |
| 7月～9月 | 国内原爆展の開催 | 展示・上映 | 国内3都市において原爆展を開催し、原爆写真パネルや被爆資料の展示、被爆体験証言、ビデオ上映を行う。 | 広島平和文化センター | 5,191千円 | 来場者数 約25,000人 | 平和記念資料館啓発課 |
| 通年 | 被爆体験伝承者による伝承講話の定時開催 | 平和学習・講座・研修 | 3年間の研修を終了した被爆体験伝承者による伝承講話を定時開催する。 | 広島平和文化センター | 3,591千円 | 聴講者数 (見込) 約13,800人 | 平和記念資料館啓発課 |
| 12月 | 国連見学ツアーガイドのヒロシマ研修 | 平和学習・講座・研修 | 常設の原爆展を開設している国連から国連見学ツアーガイド等を招へいし、被爆の実相を理解するための研修を実施する。 | 広島平和文化センター | 4,776千円 | 受入人数 6人 | 平和記念資料館啓発課 |

【中国ブロック 広島県】

| | | | | | | | |
|---------------|--|---------------------|--|----------------|---------|------------------------------|--|
| 通年 | 平和記念資料館ボランティアスタッフ活動支援事業 | 平和学習・講座・研修 | 平和記念資料館のボランティアスタッフの資質向上・保持を図るための研修を実施する。 | 広島平和文化センター | 2,921千円 | 対象ボランティア 331人 | 平和記念資料館啓発課 |
| 12月17日～12月27日 | 高校生の描いたヒロシマ原爆の絵画展 | 展示・上映 | 被爆体験証言者と基町高校創造表現コースの生徒が原爆被害者の実相を後世に伝えていくために共同制作した「原爆の絵」を展示する。 | 広島平和文化センター | 0千円 | | 国際会議場 |
| 5月4日～5月9日 | NPT再検討会議第1回準備委員会等への出席 | その他 | オーストリア・ウィーン市で開催されたNPT再検討会議第1回準備委員会に出席し、各国政府、国連関係者等に対し「核兵器禁止条約」の早期実現を目指した取組の要請を行うとともに、平和首長会議の取組に対する理解と協力を求めるなど、核兵器廃絶に向けた国際世論の喚起を図った。 | 広島平和文化センター | 6,789千円 | 【派遣人数】 6人 (市長及び随員職員5人) | 平和連帯推進課 |
| 6月13日～6月18日 | 核兵器禁止条約交渉会議への出席 | その他 | 米国・ニューヨーク市で開催された核兵器禁止条約の第2回交渉会議に出席し、各国の為政者が対立の中ではなく、建設的でオープンな議論を重ねて、実効性のある核兵器の法的禁止を実現するよう訴えた。 | 広島平和文化センター | 2,106千円 | 【派遣人数】 4人 (市長及び随員職員3人) | 平和連帯推進課 |
| 10月14日～10月21日 | ロシア国内の平和首長会議加盟都市との連携強化 | その他 | 平和首長会議加盟都市との連携強化を図るため、ロシア地域のリーダー都市であるロシア・ボルゴグラード市を訪問し、同国加盟都市のネットワークを活用した平和交流事業の活性化等について協議を行った。また、この機会を捉え、スイス・ジュネーブ市を訪問し、地域グループを管轄するリーダー都市への就任要請を行った。 | 広島平和文化センター | 1,235千円 | 【派遣人数】 2人 | 平和連帯推進課 |
| 10月30日～11月3日 | オバマ財団サミットへの出席 | その他 | 世界の若い市民リーダー数百人が一堂に会し、21世紀の活動的な市民とはどうあるべきかなどについて意見交換を行い、共通課題に対する解決策を考えることなどを通じて、国を超えた若いリーダーの人的ネットワークを構築することを目的として開催されたオバマ財団サミットに出席し、世界の若い市民リーダーとの意見交換などを行うとともに、同財団との連携強化を図った。 | 広島平和文化センター | - | 【派遣人数】 1人 | 平和連帯推進課 |
| 12月8日～12月12日 | ノーベル平和賞授賞式への出席 | その他 | 平和首長会議の会長として、ノーベル平和賞授賞式に出席し、被爆者やICANと共に現地で喜びを分かち合うとともに、核保有国を含む各国の為政者に対し、条約の早期発効に向けて条約に署名・批准するようアピールを行った。 | 広島市、広島平和文化センター | - | 【派遣人数】 2人 (市長及び随員職員1人) | 平和連帯推進課 |
| 1月15日 | 若者との対話集会「ノーベル平和賞受賞団体ICANのベアトリス・フィン事務局長と語る：平和な世界の実現に向けて」の開催 | 式典・講演会・シンポジウム・コンサート | ノーベル平和賞を受賞したICANのベアトリス・フィン事務局長の来広に伴い、「ノーベル平和賞受賞団体ICANのベアトリス・フィン事務局長と語る：平和な世界の実現に向けて」と題した、若者との対話集会を開催した。 | 広島平和文化センター | - | 【参加人数】 340人 | 平和連帯推進課 |
| 5月30日～6月2日 | 第12回平和と繁栄に関する済州フォーラムへの出席 | その他 | 韓国・済州特別自治道で開催された第12回平和と繁栄に関する済州フォーラムに出席し、被爆の実相や平和首長会議の取組を紹介し、核兵器廃絶を訴えた。 | 広島平和文化センター | - | 【派遣人数】 2人 | 平和連帯推進課 |
| 通年 | 平和首長会議加盟都市への被爆樹木の種・苗木の配付及び「平和の灯」の分火 | 被爆樹木・平和の灯 | 国内外の平和首長会議加盟都市に対し、申請に基づいて被爆樹木の種・苗木の配付、及び「平和の灯」の分火を行う。 | 広島平和文化センター | 866千円 | | 【海外】 平和連帯推進課 【国内】 平和連帯推進課2020 ビジョン推進担当 |
| 通年 | 平和首長会議インターンシップ | 平和学習・講座・研修 | 平和首長会議加盟都市の若手職員等をインターンとして招へいし、平和首長会議事務局の業務に従事してもらう。 | 広島平和文化センター | 5,764千円 | 【受入人数】 4人 | 平和連帯推進課 |

【中国ブロック 広島県】

| | | | | | | | |
|--|-------------------------|---------------------|--|-----------------------------|----------|-------------------------------------|--|
| 7月～8月 | 青少年「平和と交流」支援事業 | 平和学習・講座・研修 | 平和首長会議の国内外の加盟都市の青少年に対し、被爆者の体験や平和への思いなどを学び、交流を深めてもらうために実施している既存事業への参加を支援した。 ①HIROSHIMA and PEACE 7/31～8/9 ②青少年国際平和未来会議ヒロシマ 8/4～8/14 ③ひろしま子ども平和の集い 8/5～8/7 ④ヒロシマ平和セミナー 8/24～8/28 | 広島平和文化センター | 9,104千円 | 【参加者】 ①9人 ②6人 ③3人 ④2人 | 【①・②】 平和連帯推進課 【③・④】 平和連帯推進課2020 ビジョン推進担当 |
| 通年 | 「広島・長崎講座」設置協力プログラム | 平和学習・講座・研修 | 被爆体験を学問的なレベルで若い世代に継承するため、国内外の大学に「広島・長崎講座」の開設を呼び掛けるとともに、新たに講座を開設した大学に対し、学識経験者や被爆体験証言者等の派遣及び教材の提供を行う。 | 広島平和文化センター | 184千円 | 【新規認定大学】 2校 | 平和連帯推進課 |
| 10月3日～5日 | 国連軍縮フェロウズの受入れ | 平和学習・講座・研修 | 軍縮専門家の育成を目的として、各国外交官を対象に国連が主催する「国連軍縮フェロウシップ計画」の研修生（フェロウズ）を受け入れ、被爆の実相等について理解を深めてもらうための研修を行った。 | 広島平和文化センター | 362千円 | 【受入人数】 27人 | 平和連帯推進課 |
| 11月10日～14日 | 中国人民平和軍縮協会との交流 | その他 | 中国の平和・軍縮分野のNGOである中国人民平和軍縮協会との交流を深めるため、訪中団を派遣し、被爆の実相とともに、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を願う「ヒロシマの心」を伝えた。 | 広島平和文化センター | 1,052千円 | 【派遣人数】 6人 | 平和連帯推進課 |
| 5月2日～9日 | NPT再検討会議等への高校生派遣事業 | その他 | NPT再検討会議第1回準備委員会に、「核兵器禁止条約」の早期締結を求める署名活動に従事している高校生等を派遣し、署名の目録を同委員会議長に手交するとともにヒロシマのメッセージの発信や平和のアピール等を行ってもらうことにより、世界平和への意識と平和の実現に貢献する意欲を高め、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けたリーダー育成を図った。 | 広島平和文化センター | 3,891千円 | 【派遣人数】 9人 (高校生8人及び 引率教員1人) | 平和連帯推進課 |
| 5月13日、5月27日 6月10日、6月24日 7月8日、7月22日 | ヒロシマ・ピースフォーラムの開催 | 平和学習・講座・研修 | 市民が原爆と平和について考え、どのように行動していけばよいかを探究する機会を提供するため、広島市立大学と連携し、連続講座を開催する。 | 広島平和文化センター | 505千円 | 【参加者】 70人 | 平和連帯推進課2020 ビジョン推進担当 |
| 通年 | 核兵器禁止条約の早期締結を求める署名活動の展開 | その他 | 核兵器禁止条約の早期締結を求める署名活動を展開する。 | 広島平和文化センター | 109千円 | | 平和連帯推進課2020 ビジョン推進担当 |
| 8月9日 | 長崎原爆犠牲者慰霊の会の開催 | 式典・講演会・シンポジウム・コンサート | 長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典の挙行にあわせて、広島市民や資料館来館者が長崎市の原爆犠牲者へ哀悼の意を表するとともに、平和への誓いを新たにするため開催する。 | 広島平和文化センター | - | 【参加者】 約100人 | 平和連帯推進課2020 ビジョン推進担当 |
| 9月21日 | 国際平和デー記念行事 | 式典・講演会・シンポジウム・コンサート | 国連では毎年9月21日を「国際平和デー」と定め、世界の停戦と非暴力の日としてこの日一日、敵対行為をやめるよう呼びかけていることから、この趣旨に賛同して記念行事を行う。 | 広島平和文化センター | - | 【参加者】 約30人 | 平和連帯推進課2020 ビジョン推進担当 |
| 7月29日 | 国際平和シンポジウム | 式典・講演会・シンポジウム・コンサート | 市民の平和意識の高揚と平和のメッセージの発信を目的として広島市及び朝日新聞社との共催によりシンポジウムを開催する。（広島市と長崎市で交互に開催） | 広島平和文化センター | 3,171千円 | 【参加者】 約400人 | 平和連帯推進課2020 ビジョン推進担当 |
| 通年 | 原爆死没者の氏名・遺影の登録・ | その他 | 原爆死没者の氏名・遺影を追悼平和祈念館へ登録・公開する | 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 (厚生労働省) | 335千円 | | 国立広島原爆死没者追悼 平和祈念館 |
| 通年 | 被爆体験記の収集・整理・公開 | その他 | 被爆体験記や追悼記等を収集し、保管・公開することにより、被爆体験を風化させることなく後代へ継承していく。 | 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 (厚生労働省) | 2,551千円 | | 国立広島原爆死没者追悼 平和祈念館 |
| 10月上旬～11月中旬 | 被爆体験記執筆補助 | その他 | 被爆体験記を書く意欲がありながら、一人では執筆が困難な被爆者を対象に、職員が聞き取りを行い、それを文章に起こし、編集して公開することにより、被爆体験継承における被爆者の高齢化に対応するとともに、被爆体験記の収集増加を図る。 | 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 (厚生労働省) | 835千円 | 約10人 | 国立広島原爆死没者追悼 平和祈念館 |
| 7月中旬～11月上旬 | 被爆者証言ビデオの制作（県外・ | その他 | 被爆証言ビデオの制作を通して、原爆被爆者の体験を風化させることなく後世に継承するとともに、ビデオを保存・公開し資料の充実を図る。 | 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 (厚生労働省) | 13,769千円 | | 国立広島原爆死没者追悼 平和祈念館 |
| 1月1日～12月29日 | 企画展の開催 | 展示・上映 | 被爆の実相をわかりやすく伝えるため、祈念館で収集した被爆体験記を活用し、毎年テーマを決めて企画展を開催する。 | 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 (厚生労働省) | 2,954千円 | | 国立広島原爆死没者追悼 平和祈念館 |
| 通年 | 被爆体験記朗読会の開催等 | 平和学習・講座・研修 | 被爆体験を後世に伝えるために、被爆体験記朗読ボランティアによる朗読会を開催する | 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 (厚生労働省) | 4,177千円 | 約17,000人 | 国立広島原爆死没者追悼 平和祈念館 |
| 9月20日～9月21日 | 広島平和学習セミナーの開催 | 平和学習・講座・研修 | 旅行会社や教育関係機関などに対して、平和学習を目的として来広する重要性を訴えるとともに、修学旅行を中心とした広島での平和学習の実践につながるよう、プロモーションセミナーを開催する。 | 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 (厚生労働省) | 1,448千円 | 約40人 | 国立広島原爆死没者追悼 平和祈念館 |

【中国ブロック 広島県】

竹原市(広島県)

| 実施日 | 行事名 | 行事の種類 | 行事の主な内容 | 実施主体 | 経費 (予算額) | 参加人数、 応募人数、 対象者、 引率職員など | 担当課名 |
|-------|--------------------------|---------------------|--|-------------------------------|-------------|----------------------------------|----------------|
| 8月6日 | 啓発事業 | 黙祷・サイレン・打鐘 | 原爆死没者の慰霊及び平和祈念の黙とう周知のため、サイレン吹鳴を実施 | 竹原市 | 一 千円 | 一 人 | 総務部 総務課 |
| 8月4日 | 竹原市戦没者・戦災死没者追悼式並びに平和祈念式典 | 式典・講演会・シンポジウム・コンサート | 本市の戦没者に哀悼の意を表するとともに、今日平和を享受できる幸せと恒久平和を祈念し、また、このことを後世に伝えていくため、市民参加の追悼式並びに平和祈念式典を実施 | 竹原市戦没者・戦災死没者追悼式並びに平和祈念式典実行委員会 | 400千円 | 200人 | 福祉部 社会福祉課 |
| 11月2日 | 大久野島毒ガス障害死没者慰霊式 | 式典・講演会・シンポジウム・コンサート | 毒ガス製造に従事され、毒ガスの後遺症により亡くなった方々の御霊を慰め弔うとともに、この悲惨な事実が人類史上に再び繰り返されることのないよう、核兵器と生物化学兵器の廃絶を訴え、戦争そのものが地球上から根絶されることを念願し、恒久平和を誓うもの | 大久野島毒ガス障害者対策連絡協議会 | 317千円 | 142人 | 市民生活部 まちづくり推進課 |

尾道市(広島県)

| 実施日 | 行事名 | 行事の種類 | 行事の主な内容 | 実施主体 | 経費 (予算額) | 参加人数、 応募人数、 対象者、 引率職員など | 担当課名 |
|---------------|---------------|----------|---|--------------------------------|-------------|----------------------------------|-------|
| 8月6日 | 尾道市平和映画鑑賞会 | 展示・上映 | 映画の上映 「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める署名活動 | 尾道市、 福山・尾道地域人権啓発活動ネットワーク協議会 | 256千円 | 来場者 605人 | 人権推進課 |
| 10月20日～10月29日 | 図画・ポスター展 | 募集・コンクール | 第26回非核平和図画・ポスター展 (市内の小中学生が非核平和問題について学習し、描いてくれた作品の展示) | 尾道市 | 75千円 | 応募者 222人 | 人権推進課 |
| 7月～8月 | 平和祈念の黙祷をしましょう | 各種広報 | 広報への記事の掲載による黙とうの呼びかけ | 尾道市 | 0千円 | 人 | 人権推進課 |

府中市(広島県)

| 実施日 | 行事名 | 行事の種類 | 行事の主な内容 | 実施主体 | 経費 (予算額) | 参加人数、 応募人数、 対象者、 引率職員など | 担当課名 |
|------------|-------------------------|------------|---|------|-------------|----------------------------------|------|
| 8月1日～月日 | 原爆記念日における黙とう等の実施に係る市民周知 | 各種広報 | 広島・長崎の原爆記念日における黙とう等の実施依頼を広報紙に掲載 | 府中市 | 千円 | 人 | 総務課 |
| 8月6日～8月6日 | 原爆記念日における黙とう等の実施 | 黙祷・サイレン・打鐘 | 非核・平和を祈念してサイレンの吹鳴、黙とう | 府中市 | 千円 | 人 | 総務課 |
| 8月6日・8月15日 | 原爆記念日等における半旗掲揚 | その他 | 市内各施設での半旗掲揚 | 府中市 | 千円 | 人 | 総務課 |
| 9月2日～9月4日 | 第33回府中市非核平和都市宣言啓発ポスター展 | 募集・コンクール | 平和ポスターの作成をとおし、小・中・義務教育学校の児童・生徒に非核・平和について自由に表現してもらおうと共に、市民への啓発を図る。 | 府中市 | 16千円 | 153人 | 総務課 |

【中国ブロック 広島県】

福山市(広島県)

| 実施日 | 行事名 | 行事の種類 | 行事の主な内容 | 実施主体 | 経費 (予算額) | 参加人数、 応募人数、 対象者、 引率職員など | 担当課名 |
|-----------------------|------------------------------|---------------------|---|-------------------|-------------|----------------------------------|----------|
| 8月1日～10月31日 | 2017ふくやま人権・平和フォトコンテスト作品募集 | 募集・コンクール | 人権・平和の大切さが感じとれる写真を募集する | 福山市 | 167千円 | 42人 71作品 | 人権・生涯学習課 |
| 8月1日～8月31日 | ヒロシマ・ナガサキ被爆の実相に関するポスター展 | 展示・上映 | 平和首長会議原爆ポスター展を活用した | 福山市 | 0千円 | 10,850人 | 人権・生涯学習課 |
| 8月1日～8月15日 | 福山空襲写真パネル展 | 展示・上映 | 福山市人権平和資料館所蔵の「福山空襲」に関する写真パネルや資料を展示した | 福山市 | 0千円 | 人 | 人権・生涯学習課 |
| 8月1日～8月15日 | 平和アピール展 | 展示・上映 | 平和への願いを込め制作した「折り鶴」「ポスター」「絵画」等の作品を、市内11か所の会場へ展示した | 福山市 | 120千円 | 95団体 197作品 | 人権・生涯学習課 |
| 8月6日 8月9日 8月15日 | 黙とうの呼びかけ | 黙祷・サイレン・打鐘 | 本庁舎及び各施設等に於いて庁内放送の実施 「原爆死没者の冥福と世界恒久平和の実現を祈念」「全国死没者追悼式の周知及び黙とう」 | 福山市 | 0千円 | 一 | 人権・生涯学習課 |
| 8月8日 | 2017市民平和のつどい・第63回市民平和大会 | 式典・講演会・シンポジウム・コンサート | 福山空襲を心にとめるとともに、市民参画の音楽祭や、公演会を通して平和の大切さや人権の尊さについて、改めて考える | 福山市 | 753千円 | 1,100人 | 人権・生涯学習課 |
| 8月8日 | 原爆・福山戦災死没者慰霊式 | 式典・講演会・シンポジウム・コンサート | 原爆及び福山戦災死没者の量を慰め、世界恒久平和を祈念する(黙とう、追悼の言葉、献花、折り鶴、折ばら献納) | 原水爆禁止運動 福山推進連盟 | 0千円 | 270人 | 人権・生涯学習課 |
| 9月24日 | 福山市内戦争遺跡巡り | 戦争遺跡めぐり | 福山市内の戦争遺跡をバスで巡る | 福山市 | 68千円 | 17人 | 人権・生涯学習課 |
| 12月1日～12月4日 | 福山市児童生徒人権平和作品展 | 展示・上映 | 市内の保育所、幼稚園、小・中学校の児童生徒が作成した人権や平和に関するポスター、標語、作文、壁新聞、共同作品等を本庁舎及び支所等に展示する | 福山市 | 70千円 | 人 | 人権・生涯学習課 |
| 12月2日～27日 | 2017ふくやま人権・平和フォト作品展 | 展示・上映 | 募集した人権・平和の大切さが感じとれる写真を展示する | 福山市 | 千円 | 人 | 人権・生涯学習課 |
| 12月10日 | ふくやま人権・平和フェスタ「第69回人権週間記念の集い」 | その他 | テーマ：「平和で差別のない未来へ」 ～今、私たちができること Part II～ | 福山市 | 32千円 | 500人 | 人権・生涯学習課 |
| 2017年度内 | 福山空襲遺跡案内板整備事業 | その他 | 福山空襲遺跡案内板作成・設置(3か所) | 福山市 | 170千円 | 一 | 人権・生涯学習課 |

大竹市(広島県)

| 実施日 | 行事名 | 行事の種類 | 行事の主な内容 | 実施主体 | 経費 (予算額) | 参加人数、 応募人数、 対象者、 引率職員など | 担当課名 |
|-------------|----------------|---------------------|------------------------------------|-----------|-------------|----------------------------------|-------|
| 8月12日～8月15日 | 中学生交歓交流事業 | 平和学習・講座・研修 | 沖縄県豊見城市と中学生を隔年で交互に派遣し、平和学習や体験学習を行う | 市 | 1,561千円 | 14人 | 生涯学習課 |
| 8月6日 | 原爆死没者追悼・平和祈念式典 | 式典・講演会・シンポジウム・コンサート | 式典を実施(市から助成金) | 市原爆被爆者協議会 | 57千円 | 370人 | 保健医療課 |
| 8月5日～8月31日 | ミニミニ原爆展 | 展示・上映 | パネル、図書の展示、DVDの上映など | 市 | 0千円 | 500人 | 企画財政課 |

【中国ブロック 広島県】

東広島市(広島県)

| 実施日 | 行事名 | 行事の種類 | 行事の主な内容 | 実施主体 | 経費 (予算額) | 参加人数、 応募人数、 対象者、 引率職員など | 担当課名 |
|---------------|-----------------|---------------------|---|------|-------------|----------------------------------|----------------------|
| 6月、7月 | 市広報誌 7月号、8月号 | 各種広報 | 市が主催及び共催する平和事業等について紹介する。 | 東広島市 | 0千円 | | 総務部総務課 |
| 6月26日～6月30日 | 巡回原爆展（竹仁小学校） | 展示・上映 | 原爆に関するポスター「ヒロシマ・ナガサキ被爆の実相等」（平和首長会議作成）等の展示を、小学校の空き教室で実施した。 | 東広島市 | 0千円 | 小学生・教職員 来場者約50人 | 総務部総務課 |
| 7月3日～7月6日 | 巡回原爆展（福富中学校） | 展示・上映 | 原爆に関するポスター「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター」（広島平和記念資料館所蔵）の展示を、中学校の空き教室で実施した。 | 東広島市 | 0千円 | 中学生・教職員 来場者約50人 | 総務部総務課 |
| 7月10日～7月14日 | 巡回原爆展（久芳小学校） | 展示・上映 | 原爆に関するポスター「ヒロシマ・ナガサキ被爆の実相等」（平和首長会議作成）等の展示を、小学校の空き教室で実施した。 | 東広島市 | 0千円 | 小学生・教職員 来場者約60人 | 総務部総務課 |
| 8月4日 | 巡回原爆展（板城小学校） | 展示・上映 | 原爆に関するポスター「ヒロシマ・ナガサキ被爆の実相等」（平和首長会議作成）等の展示を、小学校の空き教室で実施した。 | 東広島市 | 0千円 | 小学生・教職員 来場者約500人 | 総務部総務課 |
| 8月4日 | 被爆体験証言（板城小学校） | 体験講話会・交流会 | 市内在住の被爆者を学校へ派遣し、児童を対象とした被爆体験証言を行った。 | 東広島市 | 7千円 | 小学生・教職員 来場者約500人 | 総務部総務課 |
| 8月4日 | 被爆体験証言（三津小学校） | 体験講話会・交流会 | 市内在住の被爆伝承者を学校へ派遣し、児童を対象とした被爆体験証言を行った。 | 東広島市 | 7千円 | 小学生・教職員 参加者約150人 | 総務部総務課 |
| 8月6日、9日、15日 | サイレン | 黙祷・サイレン・打鐘 | 原爆の日及び終戦記念日に、市庁舎のサイレンを鳴らし、黙祷を呼びかける。 | 東広島市 | 0千円 | 人 | 総務部総務課 |
| 8月22日 | 戦没者追悼式並びに平和記念式典 | 式典・講演会・シンポジウム・コンサート | 黙祷、献花、小学生による子ども平和メッセージの朗読等 | 東広島市 | 939千円 | 遺族等約300人 | 健康福祉部社会福祉課 総務部総務課 |
| 8月28日～9月12日 | 巡回原爆展（三津小学校） | 展示・上映 | 原爆に関するポスター「ヒロシマ・ナガサキ被爆の実相等」（平和首長会議作成）等の展示を、小学校の空き教室で実施した。 | 東広島市 | 0千円 | 小学生・教職員 参加者約150人 | 総務部総務課 |
| 11月10日～11月17日 | 巡回原爆展（黒瀬中学校） | 展示・上映 | 原爆に関するポスター「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター」（広島平和記念資料館所蔵）の展示を、中学校の空き教室で実施した。 | 東広島市 | 0千円 | 中学生・教職員 来場者約550人 | 総務部総務課 |
| 11月15日 | 被爆体験証言（黒瀬中学校） | 体験講話会・交流会 | 市内在住の被爆者を学校へ派遣し、中学2年生を対象とした被爆体験証言を行った。 | 東広島市 | 7千円 | 中学生・教職員 来場者約190人 | 総務部総務課 |

三原市(広島県)

| 実施日 | 行事名 | 行事の種類 | 行事の主な内容 | 実施主体 | 経費 (予算額) | 参加人数、 応募人数、 対象者、 引率職員など | 担当課名 |
|-------------|------------------------------|------------|--|------|-------------|----------------------------------|------------|
| 7月19日～9月6日 | 平和ポスター展 | 展示・上映 | 中央公民館、久井・大和支所、本郷生涯学習センター及び人権文化センターの5ヶ所で、サダコと折り鶴ポスターと原爆写真ポスター展を実施 (平和首長会議原爆ポスター展を活用) | 三原市 | 1千円 | 約5,000人 | 生活環境部人権推進課 |
| 8月 | 広報みはら8月号 | 各種広報 | 8月6日、8月9日、8月15日の慰霊と平和祈念の黙祷を周知した | 三原市 | 0千円 | 人 | 生活環境部人権推進課 |
| 8月6日／9日／15日 | 戦没者・原爆死没者の慰霊及び平和祈念の梵鐘一斉打ち鳴らし | 黙祷・サイレン・打鐘 | 8月6日8時15分、8月9日11時2分及び8月15日正午に市内各寺院の梵鐘の一斉打ち鳴らしを行い、戦争や原爆の死没者を追悼し、恒久平和を祈念した。 | 三原市 | 0千円 | 人 | 生活環境部人権推進課 |

【中国ブロック 広島県】

三次市(広島県)

| 実施日 | 行事名 | 行事の種類 | 行事の主な内容 | 実施主体 | 経費 (予算額) | 参加人数、 応募人数、 対象者、 引率職員など | 担当課名 |
|-------------|---|---------------------|--|-----------------|-------------|----------------------------------|-------|
| 4月1日～8月5日 | 平和の灯ろうコンテスト | 募集・コンクール | 原爆の子の像に手向けられた折鶴への想いを昇華させる取組として、平和をテーマとした灯ろう作品を募集、審査、表彰する。 | 三次市 三良坂平和美術館 | 23千円 | 680作品 | 地域振興課 |
| 7月28日～11月7日 | 広島東洋カープ選手による平和メッセージ | その他 | 平和の灯ろうコンテスト実施にあたり、広島東洋カープの選手から、灯ろう用紙に平和へのメッセージを自筆でいただいた。平和の灯ろうコンテスト受賞作品とともに、巡回展示をし、平和への気運を盛り上げた。 | 三次市 三良坂平和美術館 | 0千円 | 来場者 | 地域振興課 |
| 8月5日 | 平和のつどい | 式典・講演会・シンポジウム・コンサート | 平和の灯ろうコンテスト表彰・受賞作品展示 三次市平和非核都市宣言朗読 平和コンサート（森本ケンタ） | 三次市 | 1,526千円 | 700人 | 地域振興課 |
| 7月1日～8月31日 | 平和のおりづるの募集 | 折り鶴 | 市民が平和を願い折った折り鶴を募集し、広島平和記念公園に手向ける | 三次市 | 35千円 | 86,792羽 | 地域振興課 |
| 8月6日～8月9日 | 平和への祈りの呼びかけ | 黙祷・サイレン・打鐘 | 平和記念の黙とうの呼びかけ ・無線放送 ・サイレン又は平和の鐘 | 三次市 | 0千円 | 全市民 | 地域振興課 |
| 7月 | 三次市広報誌への掲載 | 各種広報 | 平和の灯ろうコンテストについて作品を募集するとともに、平和の灯ろうについてその意義と解説し、平和祈念事業「平和のつどい」の周知をする。 | 三次市 | 0千円 | 全市民 | 地域振興課 |
| 7月28日～11月7日 | 平和の灯ろうコンテスト受賞作品・広島東洋カープ選手の平和メッセージ・核兵器廃絶・原爆ミニパネル展を巡回展示 | 展示・上映 | 平和の灯ろうコンテスト入賞作品の市内12会場に展示（商業施設2か所、市民ホール、市役所、コミュニティセンター7か所、みよしまちづくりセンター） | 三次市 | 0千円 | 来場者 | 地域振興課 |
| 7月28日～11月7日 | 三次市平和非核都市宣言のアピール | 各種広報 | 平和のつどい・成人式での朗読・パンフレットへの掲載、平和の灯ろうコンテスト受賞作品等巡回展示とともに展示 | 三次市 | 0千円 | 来場者 | 地域振興課 |
| 12月～ | 「核兵器禁止条約」の早期締結を求めるオンライン署名 | 各種広報 | 三次市HPに平和首長会議HPをリンクし、オンライン署名を求める。 | 三次市 | 0千円 | 人 | 地域振興課 |

海田町(広島県)

| 実施日 | 行事名 | 行事の種類 | 行事の主な内容 | 実施主体 | 経費 (予算額) | 参加人数、 応募人数、 対象者、 引率職員など | 担当課名 |
|-------------|--------------|------------|---|------|-------------|----------------------------------|------|
| 7月21日～8月21日 | ミニミニ原爆展 | 展示・上映 | 広島原爆による被害状況等の写真パネルを庁舎1階ロビーに展示（ミニミニ原爆展を活用） | 海田町 | 0千円 | 対象者約30,000人 | 総務課 |
| 7月21日～8月21日 | 懸垂幕掲示 | 各種広報 | 庁舎の外壁に「非核宣言の町かいた」と書かれた懸垂幕を掲示 | 海田町 | 0千円 | 来場者約500人 | 総務課 |
| 8月6日～8月6日 | 広島原爆の町内放送、黙祷 | 黙祷・サイレン・打鐘 | 黙祷の呼びかけ、サイレンの吹鳴 | 海田町 | 0千円 | 対象者約30,000人 | 総務課 |
| 8月9日～8月9日 | 長崎原爆の町内放送、黙祷 | 黙祷・サイレン・打鐘 | 黙祷の呼びかけ、サイレンの吹鳴 | 海田町 | 0千円 | 対象者約30,000人 | 総務課 |
| 8月15日～8月15日 | 終戦記念の町内放送、黙祷 | 黙祷・サイレン・打鐘 | 黙祷の呼びかけ、サイレンの吹鳴 | 海田町 | 0千円 | 対象者約30,000人 | 総務課 |

【中国ブロック 広島県】

府中町(広島県)

| 実施日 | 行事名 | 行事の種類 | 行事の主な内容 | 実施主体 | 経費 (予算額) | 参加人数、 応募人数、 対象者、 引率職員など | 担当課名 |
|-------------|-------------------------|-------------------------|--|------------------|-------------|----------------------------------|-------------------------|
| 8月6日 | 府中町原爆死没者慰霊式並びに 平和祈念式 | 式典・講演会・シンポジ ウム・コンサート | 原爆死没者の遺族をはじめ、町民の参加のもとに開催し、 原爆犠牲者の冥福と世界の恒久平和を祈念する。 | 府中町 | 48千円 | 町民など約170人 | 総務課 |
| 8月6日・9日・15日 | 啓発事業 | 黙祷・サイレン・打鐘 | 8月6日、9日、15日に町内全域へ黙とうの呼びかけとサイレ ンの吹鳴を実施。 | 府中町 | 千円 | 人 | 総務課 |
| 7月29日 | 平和を祈るおはなし会 | 平和学習・講座・研修 | 平和をテーマに、被爆ピアノによる演奏、小学生による合 唱、中学生によるブラックライト紙芝居、子ども司書によ る絵本の読み聞かせ、読み聞かせボランティアによる詩の 朗読 | 府中町 | 50千円 | 来場者約100人 | 府中町教育委員会事務局 社会教育課図書館 |
| 7月22日 | 被爆体験記と原爆誌の朗読会 | 体験講話会・交流会 | 原爆絵本・詩の朗読(大人・小学生) 被爆体験講 和 | 府中南公民館 | 22千円 | 76人 | 府中南公民館 |
| 8月1日 | 平和を考えるおはなし会 | 平和学習・講座・研修 | 原爆の詩・絵本の朗読、紙芝居 | 府中公民館・府中南公民館共同開催 | 2千円 | 16人 | 府中南公民館 |
| 8月1日～8月1日 | | 体験講話会・交流会 | 被爆体験伝承講話、「一つの花」の朗読とバイオリン演奏 | | 2千円 | 67人 | 府中公民館 |
| 8月9日～8月9日 | | 体験講話会・交流会 | 原爆の詩・絵本の朗読、紙芝居 | | 4千円 | 44人 | |
| | | 折り鶴 | 参加者全員で、鶴を折る | | 1千円 | | |
| 8月1日～8月10日 | 平成29年度原爆展 | 展示・上映 | パネル展示 | 府中町教育委員会 | 20千円 | 289人 | 社会教育課 |

坂町(広島県)

| 実施日 | 行事名 | 行事の種類 | 行事の主な内容 | 実施主体 | 経費 (予算額) | 参加人数、 応募人数、 対象者、 引率職員など | 担当課名 |
|-------------|----------------------|-------------------------|---|------|-------------|----------------------------------|-------|
| 5月25日 | 坂町原爆死没者追悼法要 | その他 | 原爆死没者の追悼法要 | 坂町 | 千円 | 人 | 保険健康課 |
| 7月20日～8月15日 | 平和ポスター展 | 展示・上映 | 広島平和記念資料館より借用した、市民が描いた原爆の絵 を展示。 | 坂町 | 千円 | 人 | 生涯学習課 |
| 8月6日 | 坂町原爆犠牲者追悼慰霊式 | 式典・講演会・シンポジ ウム・コンサート | 原爆犠牲者の追悼慰霊式。 | 坂町 | 千円 | 人 | 保険健康課 |
| 8月6日 | 啓発事業 | 黙祷・サイレン・打鐘 | 黙祷の呼びかけ、平和の鐘。 | 坂町 | 千円 | 人 | 総務課 |
| 8月20日 | 坂町平和音楽祭 | 式典・講演会・シンポジ ウム・コンサート | 平和について見つめ直し、音楽を通じて平和の大切さを次 代に伝えるコンサート。 | 坂町 | 千円 | 748人 | 生涯学習課 |
| 8月21日 | 広島平和記念公園への千羽鶴の 奉納 | 折り鶴 | 児童を対象とした事業で折り鶴づくりを実施し、広島平和 記念公園へ奉納。 | 坂町 | 千円 | 人 | 生涯学習課 |

【中国ブロック 広島県】

世羅町(広島県)

| 実施日 | 行事名 | 行事の種類 | 行事の主な内容 | 実施主体 | 経費 (予算額) | 参加人数、 応募人数、 対象者、 引率職員など | 担当課名 |
|-----|--|------------|--|------|-------------|----------------------------------|-----------|
| 8月 | 8/6広島市へ原爆投下された日、8/9長崎市へ原爆投下された日、8/15戦没者を追悼し平和を祈念する日におけるサイレン吹鳴、施設での反旗掲揚 | 黙祷・サイレン・打鐘 | 各日に防災行政無線により町内にサイレンを吹鳴、町の施設において反旗掲揚し、犠牲者の追悼と平和を祈念する。 | 世羅町 | 0千円 | 町民 | 健康保険課・総務課 |

神石高原町(広島県)

| 実施日 | 行事名 | 行事の種類 | 行事の主な内容 | 実施主体 | 経費 (予算額) | 参加人数、 応募人数、 対象者、 引率職員など | 担当課名 |
|--------|------------------|---------------------|--|---------------------|-------------|----------------------------------|----------|
| 8月23日 | 折鶴献呈事業 | 平和学習・講座・研修 | 折鶴の献呈，平和公園等の見学 | 協働支援センター | 135千円 | 35人 | まちづくり推進課 |
| 8月15日 | 平成28年度神石高原町成人式 | 式典・講演会・シンポジウム・コンサート | 2017/8/15に行っている式典中に黙とうをするとともに新成人者に対して地元を舞台とした小説「黒い雨」を記念品として贈呈し平和学習啓発としている。 | 神石高原町 | 850千円 | 68人 | まちづくり推進課 |
| 12月16日 | 平成29年度読書感想文コンクール | 募集・コンクール | 「黒い雨」を多くの人に読んでもらうため読書感想文コンクールの中に部門を設けた。 | 神石高原町 神石高原町教育委員会 | 590千円 | 人 | 教育課 |

安芸太田町(広島県)

| 実施日 | 行事名 | 行事の種類 | 行事の主な内容 | 実施主体 | 経費 (予算額) | 参加人数、 応募人数、 対象者、 引率職員など | 担当課名 |
|-------|------------------|---------------------|---|-------|-------------|----------------------------------|------|
| 8月6日 | 広島原爆投下時刻に黙祷 | 黙祷・サイレン・打鐘 | 8月6日の広島原爆投下時刻に合わせて、町防災行政無線でサイレンを鳴らし、原爆で犠牲になられた方々に黙祷を捧げ、恒久平和を願う。 | 安芸太田町 | 0千円 | 町民 | 福祉課 |
| 8月15日 | 安芸太田町戦没者追悼平和祈念式典 | 式典・講演会・シンポジウム・コンサート | 戦没者の慰霊及び恒久平和の実現を祈念する式典の実施 | 安芸太田町 | 187千円 | 118人 | 総務課 |